

旧市立平作小学校解体工事説明会 会議録

開催日時 令和元年（2019年）7月27日（土）10時00分から11時07分

会場 しょうぶ園2階展示室（ホール）

出席者 [横須賀市]

【学校給食担当】坂本課長、田中係長、泉主任、中川主任

【公共建築課】新井係長、森田主任

[事業者]

【工事事業者】練武建設（株）、東建設（株）、（株）マークス、
（株）アスワン琉球.com

【測量事業者】（株）辰巳測量設計

参加者 29人（上記出席者除く）

開会

1 挨拶

■横須賀市（学校給食担当課長）

本日は旧市立平作小学校の解体工事説明会にお集まりいただき誠にありがとうございます。すでにご承知のこととは思いますが、本市では新たに中学校の給食を開始するにあたり、旧平作小学校に給食センターを整備することとさせていただいております。

日程としましては、今年度、解体工事を行わせていただいた後、来年の6月頃になると思いますが、給食センターの整備工事に入らせていただく予定です。なお、給食センターの整備につきましては、現在整備・運営を行う事業者を選定している段階で、来年頃になると思いますが工事に入る前に皆様に説明会等を開催したいと考えております。

長い期間にわたり工事が続くことになり、近隣の皆様をはじめ、地域の皆様に大変ご迷惑をおかけして申し訳なく思っております。安全対策、騒音振動対策をしっかりと行って進めていきたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

本日は、解体工事を行う事業者から、工事の内容や安全対策について説明させていただき、説明の後には質疑応答の時間を設けますので、気になる点がございましたらご質問いただければと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。

2 出席者の紹介

市、事業者各自自己紹介を行った。

3 説明（旧市立平作小学校解体工事について）

■工事事業者

資料1は、工事の概要となるが、工事名は旧市立平作小学校解体工事、工事場所が平作5丁目28番12番、工期が令和2年2月25日までとなっている。工事の概要としては、校舎・プール・体育館、その他小さい施設、外構、機械設備、電気設備等の解体やアスベスト除去となる。建物の解体後の杭頭処理や大型機械と車両が出入りするのにあたり、県道側に出入り口を確保するため、歩道の切下げ工事を行う。発注者は横須賀市で、工事事業者としては練武建設で請け負っている。

資料2は、工事の工程表となるが、7月は工事の準備作業と本日の工事説明会である。その後、お盆休み前に、対象となる家屋に個別に伺い、日程調整させていただいて家屋調査を行う。家屋調査が終わったら、仮設工事ということで、鉄板を敷く、足場を掛けるなどの工事に入らせていただく。その前に、県道側の歩道切下げ工事を行い、車両の搬入口が確保できてから、大きい車両を入れて、仮設工事を行う。仮設工事が終わった後、順次内装の解体とアスベストの解体に取り掛かる。概ね建物の解体が終わる頃、杭の処理を行う。その他、プール、その他構造物、外構の解体などを行う。工程表にも記載したが、大型のダンプカーで取り壊したものを搬出するので、ご迷惑をおかけするがご承知おきいただきたい。

資料3は、仮設工事の作業手順となるが、建物の周りに足場やパネルを設置し、防音・防塵対策をした上で、工事の施工に入る。音については影響が少なくなるように努めるが、どうしても音は出るので測定器を設置し、管理させていただく。

資料4は、工事の作業手順になるが、準備期間として、主に準備作業の書類作成と家屋調査の準備となる。仮設工事の後、アスベスト含有建材の除去工事に入る。その地、内装の解体工事、本体の校舎・体育館・プール等の大きい建物の解体に入る。それから、周りにある小型の構造物の解体を行い、最後にグラウンドと解体した場所を整備して終了となる。

資料5は、解体工事の作業手順となるが、作業中の写真にあるように大きな機械が入る。この機械は、ダダダダダというような破壊音はしないが、やはり大きな機械が移動する際にはキャタピラが動き、敷地に近接した方からするとかなり揺れを生じてしまう可能性があり、細心の注意を払うが、その点をご理解いただきたい。どうしても気になる場合は、現場にご連絡いただき、対策を検討できればと思う。

資料6は、作業時間・安全対策・振動騒音等対策となるが、準備作業もあるので、作業員は8時から現場の入場になる。作業的には8時30分から開始して17時までには終了し、18時頃までに退場する予定を立てている。また日曜祝日と年末年始は基本的に作業をしない。安全対策に関しては、通学路に接している部分もあるので、作業員が出入りする、作業前の8時から8時30分の入場に関しては、子どもたちとの接触を避けるために誘導員を配置して入場する。8時30分から17時に関してはガードマンを配置

し、誘導させる。県道側の出入りが確保できたら極力そこからの出入りをしたいと考えているが、正門からの出入りも多少必要となるので、正門側も出入りの時はガードマンや誘導員を配置するなどし、歩行者に事故のないよう努める。騒音振動に関しては、極力出さないうもりだが、大きな機械も入るのでご理解いただきたい。

資料7は、現場の見取り図になるが、県道からの出入り口は図面左側になる。しょうぶ園側に歩道を切り下げて車両が入れるようにしてからグラウンド内に鉄板を敷いて足場の設置、パネルの設置。本体工事に入っていく。車両の出入り口にはガードマンを設置するので、ご理解いただきたい。

4 質疑応答

参加者

家屋調査とは具体的に何をするのか。

■工事事業者

家屋調査については工事において震動等があるため、それによる被害が出たかを調べるために、工事前の家屋の状況を調査するものである。家の周りや家の中の写真を撮らせていただき、現在の状況を把握する。工事が終わった後に再度調査して、工事前の状況と比較して被害があるかを調べ、工事による被害かを選定する。

家の中に入って調査をするため、寝室など入ってほしくない場所があれば指示をいただき、その部屋は調査しないようにする。

参加者

家の中の写真を撮るのか。

■工事事業者

ふすまや壁、建て付けの状態などを確認する。

参加者

家屋調査を行うということは、そのような被害が出るということか。

■工事事業者

工事による被害が出た場合に対応を検討するために行うものである。

参加者

アスベストは具体的にどの場所に入っているか把握しているのか。

■横須賀市

アスベストの位置に関しては事前に横須賀市で調査をしており、工事の計画内容にアスベスト除去部分の指示をしている。

石綿が塗装材にごく少量含まれている部分としては、第1期校舎の給食室の天井、第2期校舎の外装の軒裏、第3期校舎の外壁と軒裏及び室内の図書室、焼窯庫の外壁と軒裏である。これらは、石綿含有仕上塗材とあって、ごく少量のアスベストを含んでいるが、固まれば飛散性はないとされている。ただし、解体にあたっては分別して解体する必要があるため、養生をしっかりと行い、密閉した空間の中で除去する。完全にアスベスト塗材がなくなってから、建物を解体するという流れである。

それから、吹付石綿というものもあり、第1期校舎の階段の天井に少量のアスベストが入っている。こちらは、ひる石を吹いて不純物としてアスベストが混入されたか、少量のアスベストを混ぜて施したもので、含有率は非常に少ないが、吹付石綿という位置づけになり、外壁の塗材よりも飛散性が高いとされているので、密閉した状況を作り、負圧除塵装置でその空間の空気を吸う形で一斉に除去する。こちらでも完全に除去し、市でも確認した後に、解体工事を続ける。

最後に、成形板について、以前よく使われていたフレキシブルボードや天井材の不燃ボードなど、完全に成形状態の板にアスベストの含有が確認されている。Pタイルなどの床材にも含まれている。成形板については、事前の調査で位置は把握しているが、色々な場所にあること、また成形状態であれば飛散性は全くないとされているので詳細の場所については説明を省略させていただく。

□参加者

解体工事では、ダダダダダというような音はしないとの説明があったが、どのようにコンクリートを壊すのか。

■工事事業者

解体の方法について、建物内部に関しては手で行う。また、建物外部などの構造物に関しては、大きいバックホウのアタッチメントやコンクリートクラッシャーで取り壊す予定であるが、ダダダダダというような音は出ない機械となっている。

□参加者

プールについてはどうか。

■工事事業者

プールも同様で、圧縮して壊す予定である。細かくしたコンクリートがらは、バックホウのバケットで何回も積み込む。

□参加者

騒音震動計を設置するのとのことだが、目標値はないのか。測るだけでは意味がない。

■工事事業者

騒音については、騒音規制法で 85 デシベル以下での作業という決まりがあるので、それを越さないように細かく確認しながら作業を行う。

□参加者

年末年始は工事をしないとの説明であったが、具体的な期間は。

■工事事業者

年末年始の休みについて、現時点での予定では 12 月 29 日から 1 月 5 日までを想定している。

□参加者

学校の正門についてだが、子どもの通学路ということで心配している。朝 8 時から 8 時 30 分までは作業車は入らないとの説明だが、準備や支度する車の出入りがあるのではないか。それから、ガードマン等の配置について下校時間はどうなるのか。1 日中ガードマンが配置されるのか。下校時間帯にも子どもたちは通学路を通るので十分気を付けていただきたい。

それから、旧市立平作小学校の敷地外周は、空地ということもあり、樹木が生い茂っているが、樹木の剪定などは検討しているのか。また、現在の状態のまま、給食センターを建設するのか。

車両の出入口として県道側を切り下げ、大型車両はそこから出入りするが、2 トン車、4 トン車については、正門から入るとの説明があったが、この部分についても県道側から出入りすることはできないか。そうすれば子どもたちの安全が保たれるのではないかと思う。

■工事事業者

正門側の 8 時から 8 時 30 分にかけての車両の入場については、池上小・中学校とも既に打合せをさせていただいた。車両は 7～8 台程度で、乗用車や小さいトラックの予定で、出入りについては、最初に到着した現場代理人等が誘導員としてつく予定である。8 時 30 分からはガードマンが常駐するのでその後の出入りはガードマンの誘導に従うことで、事故を起こさないようにする。

正門側からの 2 トン車、4 トン車の出入りについて、県道側の出入り口が確保できた

後は、そちら側から極力出入りする。県道側の出入口ができるまでにも内装の解体などの準備的な作業がある。また、大きい車両が入れない裏側の足場設置などは2トン車や4トン車で対応したいので、正門から入らせていただきたいと資料に記載した。正門側からは頻繁に入ることがないようにし、子どもの通学について事故のないよう対応するのでご理解いただきたい。

□参加者

県道側の出入口を造る工事はいつ頃開始するのか。

■工事事業者

8月19日から開始の予定で、1週間から10日程度の期間を予定している。

■横須賀市

植栽が生い茂っている部分についてだが、解体工事においては、道路に越境している部分の枝払い等のほか、正門側の一部や県道側のグラウンドに入る出入口付近の植栽については撤去していく予定である。

■横須賀市

給食センターの整備については、事業者がまだ決まっていないため、未定であるが、現在の植栽を生かしながら計画を立てている。ただし、新しい施設となるのである程度手を入れた状態で植栽が残っていくイメージで考えている。

□参加者

アスベストの話が出ているが、私はアスベストの被災者で、今は労災で1年に2回病院で検査を受けている。職場でアスベストを作っていたわけではなく、ボイラーを作っていて、工場内に飛んでいたアスベストを吸いこんでいて、40年程度経過している。旧平作小学校のアスベストが解体の時に飛散することや在籍した児童に後遺症が何十年経過して被害が出たというようなことはないと思うが、アスベストを1カ月かけて除去すると聞いて、過去に学校に在籍した先生や児童には被害があったのかが心配になった。1カ月かけて作業すると聞いて驚いたが、慎重に行うことは良いと思うので、十分注意して作業していただきたい。

工場で見ただけにはアスベストはキラキラして輝いていたが、学校を見学したときは見られなかったので、後遺症もないと思うが、今回慎重に作業する計画となっているので、心配になったので、そういう部分もフォローしていただけたら良いと思う。

■横須賀市

アスベスト除去作業の期間についてだが、説明したように少量ではあるが、飛散しないように養生をする。塗材に関しても簡単に剥けるわけではないので、職人が小さなへらで剥がし、掃除機で吸い取りながら密閉状態にして、本当に丁寧にやっているので、どうしても時間がかかる。危険性とは比例するものではないが、時間がかかる作業である。アスベスト除去は本当に慎重に行う必要があり、事業者としても、監督者としてもしっかりと工事管理を行っていく。

■工事事業者

密閉をして丁寧に作業をさせていただきたいと考えている。

□参加者

労務者も吸引しないように注意していただきたい。私達もプロであったから防塵マスクを使っていたが、夏は暑いため、取ってしまうことがある。だから、私達被災者が言っていたと伝えても構わないので、労務者に十分注意していただきたい。

■横須賀市

アスベストの除去作業時には、アスベストが漏れていないか測定しながら作業していく。これまでもアスベスト除去工事で漏れたという経験はないが、しっかりと測定しながら工事の方を進めていく。

□参加者

車の出入りについて、県道側に大型車両の出入り口ができるということだが、解体と整備の期間は利用すると思うが、給食センターとして運営する際にも使うのか。それとも、工事期間中だけの出入り口となるのか。また、工事期間中は、その部分の歩道は使用できないのか。

それから、要望として現在旧平作小学校の正門から出て阿部倉アパートに向かうT字路に信号がある。学校側からアパートの方へ渡る信号について、青信号になれば歩道を渡るが、右折や左折の車がある。この角の場所が、少し地面が高くなっていて、植え込みもあるため、車の運転者が左折する際に横断歩道を渡る人が見えないので、崖を切り崩す、角の部分を車両から横断歩道を渡る人が確認できるくらいに広げていただきたい。

■横須賀市

今回の解体工事で、県道側に出入り口を設け、給食センターの整備期間も使用するし、給食センター開業後の出入り口としても想定している。ただし、出入口の幅は工事期間ほど広く取らない可能性はある。なお、解体工事や整備工事中についても歩道は使用可

能である。

要望の件については、今回の解体工事の対象範囲に含まれていない部分と思われるので、この場で即答は難しい。持ち帰って検討させていただきたい。

参加者

出入口の件だが、県道は3車線あり、T字路をバスが左折してきて、すぐに、しょうぶ園に右折するため、2車線走るとなってしまう。そのような状態で、出入りすると非常に危ないのではないかと。交差点間の中央に出入口を設けるのではなく、プールの側の道路を使い、信号から出るなどすれば良いのではないかと。敷地内を直線の通路にできればグラウンドの真ん中でなく、敷地の端を通せばよいのではないかと。県道が開通してから、車の通行量が多くなり、速度も出している。開通前は低速で走っていたが、今は葉山方面から制限時速50kmの道路だが、60km程度の速度で走っている。出入りに信号がないと大変ではないかと思うので、計画の段階であるならば、信号が使える位置に出入口を移動してはどうかと思った。

横須賀市

交通量の多さや速度に関しては把握しており、ご指摘のとおり、道路が拡幅されて以降、車の速度も速くなっている。出入りは、左折のみにするのは勿論であるが、ガードマンが交通整理をさせていただき、現在計画している場所から出入りをさせていただきたいと考えている。ご提案のあった場所に変更した場合、交差点に近くなりすぎたり、植栽を変えて高低差を処理する必要が生じたりする。解体工事については、事故があってはいけないので、ガードマンをしっかりと配置していく。

参加者

交通量が非常に多いので心配している。

横須賀市

気を付けて工事を進めていく。

工事事業者

信号に合わせて出入りしたほうがより安全かと思うので極力そのようにする。

参加者

大型車両の出入口は朝開けることになると思うが、その前にトラックが来て路上駐車して並ぶようなことはないか。

■工事事業者

そのようなことはないように徹底する。県道側の出入口は、朝、職員が正門側から入ってから開ける作業をするが、開いてから車両が来るようにし、工事現場の近辺に路上駐車させないようにする。

□参加者

出入口が開く前にトラックが来ることはないか。

■工事事業者

ない。

□参加者

家屋調査について事前に日程など通知は届くのか。

■工事事業者

今後、個別に訪問させていただき、予定を伺いながら日程の調整をさせていただく。

□参加者

対象範囲は分っているのか。学校敷地の周りだけか。

■工事事業者

そのとおりである。

□参加者

対象範囲をはっきりと説明し、いつ頃から学校の周りを対象に調査させていただくと回覧するなどしないと、いつ来るかが分からない。

■工事事業者

下準備として対象家屋に挨拶に伺った上で、日程調整させていただき、家屋調査の写真を撮らせていただく作業となる。

□参加者

車の出入りについて、8時以降のことが問題になっているが、作業の準備を含めて8時から開始するということは作業員は8時前に現場に入ることになるが、車の管理はどのように行うのか。可能であれば、県道側から極力使っていただきたい。エイビイの前、平作小学校の前、池上小学校の前などは、8時前に子どもが歩いているがどのように考

えているか。

搬出や搬入の運転手が多くなると思うが、安全教育について具体的にどのようなことを考えているか。

■工事事業者

8時から8時30分までに工事の監督者など最初に到着した者が門を開け、次に来る車両を誘導する。

□参加者

8時前には入場しないということか。

■工事事業者

日によって7時50分頃ということもあるかとは思いますが、なるべく8時から入場と考えている。

ダンプやトラックの運転者への教育については工事開始前に、新規入場者教育を必ず行い、名簿の提出もする。工事現場のルールとして、出入りの場所や出入り可能な時間帯などをしっかりと説明した上で作業に入る。

□参加者

家屋調査について、対象範囲は何かで分かるのか。

■横須賀市

範囲に関して、現在の計画では旧平作小学校の境界から10mかつ建物の高さの2倍の範囲に入る住宅を設定している。敷地から道路を挟んで住宅一列となる。横須賀市建築物の解体等工事に伴う紛争の未然防止に関する条例の中で、敷地境界線から10mかつ建物の高さの2倍以内の範囲を近隣住民として位置付けている。概ね21軒が該当するので、該当の21軒について個別に測量事業者が訪問した上で、日程を決めさせていただきたいと考えている。

■工事事業者

来週から該当される家を一軒ずつ訪問し、日程の調整をさせていただきたいと考えている。

□参加者

議事録は公開されるのか。

■横須賀市

多少時間はかかるが要約したものを公表する。

□参加者

出席者などは載るのか。

■横須賀市

出席者、いただいた質問及び本日の回答などが出るように作成する。

給食センターの整備関係のホームページに本日の説明会の開催のお知らせと合わせて、説明会の議事録という形で公開する。

□参加者

町内会の回覧で回さないのか。

■横須賀市

ご希望があれば準備し、町内会と調整する。

□参加者

先ほど質問した学校の生徒の健康診断を行うことは可能か。私も勤務先を退職してからアスベスト被害の連絡がきて驚いた。平作小学校の教職員などからサンプル的に健康診断を行い、異常がないことを確認できれば一番良い。

■横須賀市

現時点での率直な感想としては、実施は難しいと思う。

□参加者

教育委員会では簡単に考えているかもしれないが、退職した後に、会社からアスベスト被害の連絡を受けた自身の経験から話している。被害がなくて当たり前だと思うが、サンプル的に1件でも2件でも行って、異常なしと言うことができれば一番良いのではないか。児童は卒業しているので、教職員でも良いが、アスベストについて1カ月も慎重に除去するほど危険な状況ということか。建物は建築から40年以上経過しているので、その頃の子どもがどうなっているか心配であるが、調べるのは大変だとは思いますが、過去の教職員に健康診断を依頼するなどはできないか。異常がなければ良いが、症状があると大変苦しくなる。私も薬を服用している。できなければ仕方はないとは思いますが。

■横須賀市

アスベストに関しては旧平作小学校だけでなく、一般の学校以外のところでも成形板や塗材で使用されている。今回は、解体工事を行うので、塗材などが簡単に剥がせるわけではないので、細かく取っていかなくてはならない。飛散性が少ないものではあるが、万が一飛散した場合も考慮して慎重に行っていくので時間をとっている。市内の学校には、(アスベストの含有した材料を吹付したものはあるが、) アスベストそのものを吹き付けたものは使用していない、また、旧平作小学校特有のものではないということ、施工された状態では飛散性がないこと、天井部分もひる石で固まっているという状況であるので、ご理解いただきたい。

■横須賀市（学校給食担当課長）

本日いただいた騒音・振動対策、アスベスト対策、家屋調査などのご意見を踏まえ、工事を始める前にあたり慎重に検討し、対応していきたいと考えているので、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

閉会